

【指定期間評価用】

青森県総合社会教育センターの管理運営状況
(平成27年度～28年度指定期間評価)

県所管課	教育庁生涯学習課
指定管理者	日本人財発掘・ビルネットグループ (代表者である団体) 特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会 (構成員) 株式会社ビルネット
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設の使用許可に関する業務	青森県総合社会教育センター条例及び同規則の規定を遵守し、公正な貸室業務に努めた。 また、平成27年7月から開所時間を延長し、19時まで(貸室は21時まで)としたことにより、利用者サービスが向上し、施設の利用促進が図られ、利用者数が年々増加していった。
施設の維持管理に関する業務	開所時間を延長した一方で、デマンドコントロールシステムによる電気使用量の調整を図り、かつ照明を段階的にLED化するなど、光熱水費の削減に努めた。また、施設設備の点検、清掃業務に関しても日常的に行い、防犯カメラの増設や施設内の巡回の強化など、安全管理面にも力を入れ、利用しやすい施設環境づくり及び維持管理に努めた。
施設の業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおもり県民カレッジ運営業務 県民の生涯学習活動の更なる振興を目的に、各地域の連携機関と協力体制を組み、それぞれのニーズに合った学習機会の提供に努め、地域の自主的な学習意欲の促進を図った。また、カレッジ学生募集のための広報・周知活動に力を入れた結果、新規入学者数も年々増加しており、生涯学習フェア及びキッズフェアなどのイベントの実施により、県民カレッジ活動を盛り上げ、青森県の生涯学習活動の振興に大きく貢献した。 ・インフォメーションプラザありす運営業務 窓口対応時間の延長、Wi-Fi環境の整備、ラーニングスペースとしての開放や、自主学習室・ほのぼのルームの運営など、より利用しやすい空間づくりに努め、利用者の増加につながった。
自主事業	事業計画書のとおり概ね実施した。また、カレッジ学生のより主体的な生涯学習活動の推進を目的に、「チャレンジ先生の手作り講座」を実施するなど、主体的に生涯学習活動に取り組むための環境づくりに努めた。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
研修室等利用者数 (人)	2 3		52,135	(指定前の実績)	
	2 4	54,742	54,210	99.0%	104.0%
	2 5	56,400	62,236	110.3%	114.8%
	2 6	58,500	54,880	93.8%	88.2%
	2 7	58,000	60,558	104.4%	110.3%
	2 8	60,000	61,004	101.7%	100.7%
	2 9				
インフォメーション プラザありす来 場者数 (人)	2 3		11,709	(指定前の実績)	
	2 4	12,880	13,785	107.0%	117.7%
	2 5	14,300	15,171	106.1%	110.1%
	2 6	15,700	15,623	99.5%	103.0%
	2 7	16,000	22,933	144.2%	146.8%
	2 8	16,500	33,143	200.9%	144.5%
	2 9				
あおもり県民カレ ッジ学生数 (人)	2 3		15,547	(指定前の実績)	
	2 4	17,102	16,329	95.5%	105.0%
	2 5	18,600	17,011	91.5%	104.2%
	2 6	21,600	19,085	88.4%	112.2%
	2 7	新規入学者 500人	681	136.2%	(前年度 2,198) 30.9%
	2 8	新規入学者 500人	1,929	385.8%	283.3%
	2 9				

3 評価結果 (評価は平成27年及び28年度評価の平均である)

評価項目	指定管理 者自己評 価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に 向けた取組みが適切に行 われているか	3	3	開所時間の延長や、施設環境を整備して利用 しやすい環境作りに努めているなど、サービス 向上に向けた取組みが行われていた。
②利用促進に向けた取組み が適切に行われているか	3	3	各種メディアによる広報を行うとともに、効 果的な広報活動への見直しを行うなど、利用促 進に向けた取組みが適切に行われていた。
③施設、設備及び備品の維 持管理及び修繕が適切に行 われているか	3	3	点検及び清掃業務等を日常的に適正に実施 し、施設の良好な維持管理に努め、より快適な 環境づくりをするために必要な備品を整備す るなど、適切な維持管理が行われていた。

④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか	3	3	災害発生時の行動想定や、消防署の協力を得てAEDによる救命実技講習を行うなど、非常時を想定した危機管理が行われていた。また、防犯カメラの増設や日常的な巡回の強化など、日常的な安全管理にも努めた。
⑤指定管理料が適正に執行されているか	3	3	デマンドコントロールシステムによる光熱水費の削減や、より効果的な広報活動への見直し、また、削減した経費は、県民サービス向上の経費として執行するなど、評価期間を通して、効果的かつ適正に執行されていた。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	4	4	一部達成できなかった指標項目があるものの、多くの項目で当初目標を大きく上回る結果が出ており、成果目標達成のための努力が行われており、全体的に成果が上がっていると認められる。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	3	3	評価期間を通して、労働法令を遵守し、個人情報の保護に対する体制の構築・取組が適切に行われていると認められる。
総合評価	3	3	評価期間を通して、施設利用のサービス向上に取り組んでおり、維持管理も適切に行っていた。また、生涯学習業務についても、新たな取組みを行うなど、青森県の生涯学習活動振興に努めていたと評価する。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する

【総評】

平成27年度から開所時間を延長するなどのサービス向上に努め、施設利用者の増加につながっている。その一方で、デマンドコントロールシステムなどにより光熱水費の削減にも努めており、節減分により良い環境づくりのための備品を整備するなど、県民サービスの充実のために、効果的に指定管理料を執行している。また、施設の維持管理についても業務水準書に沿って適切に行っており、利用しやすい環境づくりに努めている。

県民カレッジをはじめとする生涯学習活動振興業務においては、広報活動を工夫したことでカレッジ学生数が増加し、また、県民の生涯学習活動への主体性を育むための自主事業を実施するなど、県内地域の連携機関と協力しながら、青森県の生涯学習活動の振興に努めていた。

以上のことから総評として、評価期間を通して、青森県総合社会教育センターの設置目的に沿った適切な管理運営が行われていたと評価する。